

ナキウサギの天然記念物への指定 を求める署名のお願い



写真：中村千鶴

ナキウサギは、今から3.5～4万年前の氷河期にシベリアから北海道に渡ってきたと考えられています。その後、北海道は海に囲まれたため、涼しい山岳地帯などに生き残りました。氷河時代の生き残りというばかりでなく、鳴き声でのコミュニケーションや冬に備える貯食活動などその生態も独特で、学術的にもとても貴重な生きものです。

しかし、高温に弱いので涼しい岩場でしか生きていけず、移動も制約されています。このため、生息地が開発されたり分断されたりすると、その地域のナキウサギは絶滅する恐れがあるのです。排気ガスにも弱いので、道路が作られるとその影響も大きいでしょう。

幸いにも自然を愛する人々の力によって、「土幌高原道路」や「日高横断道路」の建設はストップさせることができました。しかし、大規模林道をはじめとして山奥での開発行為はとどまることを知らず、ナキウサギの生息地は脅かされ続けています。一日も早く天然記念物として守っていかねば、北海道の山でナキウサギの鳴き声をもう聞くことはできなくなるかもしれません。

ナキウサギの生息地の主な開発計画



ナキウサギってこんな動物です

丸くて短い目と、長いヒゲが特徴です。

冬眠しないので、冬は、雪の間に、岩の下にためておいた草や葉っぱを食べます。

ちょっと見るとネズミのようですが、ウサギの仲間です。前歯の裏側に歯がもう2本あります。

草や葉やコケ、お花も大好き。自分のウンチも食べるんです。

体長は15～18cmくらい、体重は120～160gくらいです。

シツボはありませんが、毛に隠れていて、なかなか見えません。

キチッ、キチッ、キチッ大きい声で鳴きます。

文：松田まゆみ

送り先

ナキウサギふあんくらぶ

〒060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目加森ビル6F (社)北海道自然保護協会気付
TEL 011-281-3348 Fax 011-281-3383

ホームページ：<http://www.pikafan.com/fanclub/> Eメール：fanclub@mail.plala.or.jp

